

2019年11月29日

住理工ロジテック、「モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を受賞

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長：松井徹）は、物流子会社、株式会社住理工ロジテック（愛知県小牧市、代表取締役 社長：内藤肇）が、一般社団法人日本物流団体連合会より 第6回モーダルシフト大賞の「令和元年度 モーダルシフト取り組み優良事業者賞 有効活用部門」を受賞しましたので、お知らせいたします。



左から、日本物流団体連合会会長 渡邊健二氏、マリネックス西日本代表取締役社長 嶋井五雄氏、住理工ロジテック社長 内藤肇

11月25日（月）、学士会館（東京都千代田区）で表彰式が行われ、渡邊健二・一般社団法人日本物流団体連合会会長より、住理工ロジテック社長 内藤に表彰状が授与されました。

また、当該活動におけるフェリー運行事業者のマリネックス西日本株式会社（大阪市北区）も同賞「実行部門、有効活用部門」を受賞されています。

■受賞内容

・モーダルシフト取り組み優良事業者賞「有効活用部門」の対象

これまでに幹線輸送におけるモーダルシフトによって環境負荷軽減とともに輸送の効率化・省人化を実現し、現在も継続して当該案件の輸送を行っている事業者。

▶ 対象となった活動

2017年10月より取り組んでいる、「フェリーを利用した自動車用ホース等の海上輸送へのモーダルシフト」の活動が評価されました。

これは、住友理工の松阪事業所がある三重県松阪市と福岡県北九州市の間における自動車用ホースの輸送（松阪市発）及び空容器・パレットの輸送（北九州市発）について、従来のトラック輸送から、長距離フェリー航路（北九州⇄神戸）を利用した海上輸送への転換を図る取り組みです。なお、年間の輸送回数（往復）は約250回。

▶ 効果

- ・フェリー輸送を利用したことで、輸送時間は約9時間から約20時間に延びましたが、ドライバーの運転時間は約3時間減少しました。
- ・フェリーの定刻出発に対応するために、住友理工での生産も効率的になりました。
- ・ドライバーがトラックの運転にかけていた時間が、1,887時間/年（43%）減少（推定）。
- ・CO₂は、140トン/年（52%）減少（推定）。

住友理工グループでは今後も、安定した製品供給を計画・実施する中でも、効率的かつ地球環境に配慮した輸送を目指してまいります。

■ 参考資料

<住理工 ロジテック>

住友理工グループが製造する、自動車用防振ゴム・ホース、一般産業用品などの物流を担う住友理工のグループ会社。

▶ 概要

所在地：	愛知県小牧市東二丁目322番地（住友理工株式会社 小牧本社・製作所内）
資本金：	7,000万円
出資比率：	住友理工株式会社（90%）、フコク物流株式会社（5%）、北港運輸株式会社（5%）
代表者：	代表取締役 社長 内藤肇（ないとう はじめ）
設立：	2003年10月1日
従業員数：	83人（2019年3月末時点）
事業内容：	住友理工グループ会社の物流業務の受託

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。23ヶ国106拠点に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail kouhou@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>